

社会福祉法人淡海すぎのこ会 すぎのこども園

園長 柴田みどり 担任：梅木真菜 三井昌子 岸本優衣

まだまだ日中は暑く感じられる日もありますが、朝夕と涼しく過ごしやすい季節となってきました。疲れや気温の変化から体調を崩しやすい時期ですので、体調に気を付けながら元気に過ごしていきたいですね。



☆10月の予定☆ (10:00～11:30 2階・子育て支援室)

8日(木) 感触あそび(スライム)

“スライムで遊ぼう～感触や形の変化を楽しもう～

23日(金) 親子運動会

“親子運動会に参加しよう～体を動かす楽しさを知ろう～

○お帳面・水筒(お茶)・帽子・着替え(オムツ)を持ってくるください。

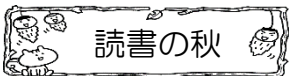
○たんぽぽの活動中は、裸足で過ごします。

○汚れても良い服装でお越しください。

○欠席される場合は9:30までに連絡をお願いします。

○体験をご希望の方は、事前に下記までご連絡ください。

TEL: 077-563-7200 (担当: 梅木・三井・岸本)



読書の秋

お家の方に絵本を読み聞かせてもらう時間はこどもにとって、最高のコミュニケーションタイムです。こどもたちが大きくなった時の大切な宝物になります。こどもたちは安心出来るお家の方に読み聞かせてもらうことで、絵本の世界で疑似体験をし、様々な感情や言葉を知り、イメージする力(想像力)を育んでいきます。親子で楽しみながらお気に入りの1冊をぜひ見つけてみてください。年齢ごとの絵本を選ぶ際のポイントをご紹介します。

＜0歳児＞ 言葉のリズムがよく、繰り返しのある絵柄がシンプルで色使いがはっきりしている絵本。

この時期のこどもは言葉の意味がわからなくても、耳で聞いて身体の中に言葉を蓄えています。短いフレーズが繰り返し出てくるようなリズムカルなもので、0歳児の感覚をたっぷり刺激してあげてください。また、視力が未発達なので、背景に書き込みが少ない、はっきりした絵の物を選んでみてください。

＜1歳児＞ 簡単なストーリーがあり、こどもの知っている物や動物がたくさん出てくる絵本。

1歳を過ぎると、言葉や絵から自分の知っていることを関連付けてイメージできるようになってくる年齢です。こどもたちの知っている物や動物が出てくるもので興味を引き出してあげてください。また、簡単なストーリーがあるものを選び、1場面完結ではなく1冊を通してひとつながりのストーリーがある絵本だと、絵本をめくる楽しさも感じることもできます。

＜2歳児＞ ストーリーに起承転結があるもので、絵の中に発見や仕掛けがかくれている絵本。

2歳頃になると、発見したことを誰かに伝えたい気持ちでいっぱいです。絵の中から何かを探し出すものや複雑な絵柄の物が楽しめるようになってきます。また、イメージする力が豊かになり、体験したことのあることや知っている動物などが出てくるストーリー性のあるものをおすすめです。